学校番号	３０５

令和三年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ(文系)	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　古文編・漢文編」　（東京書籍）						
副教材等	「新精選古典文法　改訂版」（東京書籍） 「新精選古典文法　準拠ノート」（東京書籍） 「三訂版わかる・読める・解ける　Key&Point 古文単語 330」（いいずな書店） 「リード古文　３（発展編）」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生で学習した古典をさらに発展させる科目です。よりレベルの高い文章を読むことを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深め、高校で学ぶ古典を完成させることを目標にします。また、作品の内容や特色について理解し、作者のものの見方や感じ方・考え方についても考察する力を身につけましょう。
・３年間の古典学習の総仕上げとして、これまで以上に授業を大切にし、予習・復習に取り組みましょう。場面描写や自然描写に着目しながら、作品の世界を味わいましょう。
・様々な作品を読み、古典における位置づけや普遍的価値観について考察しましょう。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート、プリント等）			・行動の分析 ・記述の確認及び分析 （プリント、ワークシート） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 4	日記	和泉式部日記 「夢よりはかなき世の中を」 「有明の月に」	◎			○	○	a:日記文学に興味を持ち読んでいる。 d:挿入された和歌から詠み手の心情を正確に読み取る。 e:作品・作者についての文学史的位置づけを把握している。敬語・重要語句について理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 定期テスト e:記述の点検 小テスト 定期テスト
5	儒家の思想	諸子百家 孔子 孟子 老子	◎			◎	○	a:諸子百家の思想を理解しようとしている。 d:諸子百家の説く政治思想を的確に読み取っている。 e:句法・助字などに注意をはらい、正しく書き下し、現代語訳できている。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 定期テスト e:記述の点検 小テスト 定期テスト
6 7 8 9	物語	源氏物語 「車争ひ」 「須磨の秋」	○			◎	○	a:既習の内容を確認するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとしている。 d:登場人物の心情の動きを的確に捉えるとともに、和歌に詠まれた心情を読みとっている。 e:和歌や漢詩を引用する効果について理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 定期テスト e:記述の点検 小テスト 定期テスト
	史話	日本外史 「所争不在米塩」 「諸将服信玄」	◎			◎	○	a:『日本外史』に興味をもち、取り組もうとしている。 d:登場人物の考え方や人格を、本文に即して理解しようとしている。 e:句法に注意して、正しく現代語訳している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 定期テスト e:記述の点検 定期テスト
後期 10 11	評論	無名草子 「清少納言」 「紫式部」 「文」 源氏物語玉の小櫛 「もののあはれの論」	○			◎	○	a:評論について理解しようとしている。 d:それぞれの評論の内容を整理し、テーマを理解しようとしている。 e:関連資料を適切に利用し、古典理解の方法としての現代語訳の意義を実感している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 定期テスト e:記述の点検 小テスト 定期テスト

1 2	俳諧	芭蕉 「吉野の花」 蕪村 「歳末弁」 去来抄 「行く春を」	○			◎	○	a:俳諧について理解しようとしている。 d:作品内に展開されている作者の論を正確に読み取っている。 e：俳諧の文学史的な価値を理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 定期テスト e:記述の点検 定期テスト
1	上代の文学	古事記 「倭建命」	◎			◎	○	a:上代の文学の特徴をとらえながら、意欲的に取り組もうとしている。 d：人物像を読み取り、内容と心情を把握している。 e:作者と作品について、関連資料を適切に使用しながら理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 定期テスト e:記述の点検

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。